

## 関東学院大学の学生にインタビューしました！

葉山の森では、主要な3つのプロジェクト「ボランティア整備」、「自然ふれあい体験会」、「ふるさと絵屏風」において、葉山の森から近い、関東学院大学の多くの学生の皆さんにご協力いただいています。今回は、活動の初期から継続して参加して下さっている2人の学生にインタビューを行いました。



関東学院大学 経済学部経営学科 4年生 小山ゼミナール  
竹内 風光生さん(左)、中鉢 博人さん(右)

**大和ハウス (以下 DH)：2013年度の1年間でお2人の参加回数はなんと10回！この1年で気持ちの変化などはありましたか？**

**竹内さん：**僕は田舎育ちなので、葉山の森のような場所は懐かしくて、純粋に楽しむために参加していました。葉山の森に来ると必ず、地域の方や社会人の方と話す機会に直面しますが、当初は自ら話しかけるということはありませんでした。ですが、活動にも慣れ、せっかくの機会だと思っていざ話しかけてみると、その方の人生経験を聞けたり、就職活動の相談にも乗っていただけたり、回数を重ねる内に自分の中の“他世代”や“初対面”といった壁が低くなって、気軽にコミュニケーションを図れるようになりました。

**DH：継続的に参加することで、初対面の人や様々な世代の人が集まる中でコミュニケーションを取っていくコツを掴んでいったということでしょうか。**

**中鉢さん：**継続して参加していると、4度目くらいから大和ハウスの社員さんに名前と呼ばれ始めて、僕の中で葉山の森が「アウェイな空間」から「ホームな空間」に変わった印象があります。社員さんとの信頼関係のようなものが出来てくると、ちょっとした手伝いを頼まれるようになり、自分の役割について考えるようになりました。大きなきっかけとなったのは、2013年10月の竹林整備&バーベキューの企画で運営側として関わったとき。僕がどのように動けば参加者の楽しんでもらえるか、考えながら行動する良い機会となりました。



▲子どもや社会人との関わりを持てる機会は貴重！



▲バーベキューの際に突然始まったヒーローショー。  
外来動物から葉山の森を守る…  
“葉山戦隊マモルンジャー！”

**竹内さん：**2014年4月のタケノコ掘り&バーベキューの際は、その1ヶ月前から企画に関わりました。今度は後輩たちがタケノコ掘りの“班リーダー”という役割を担い、僕たちはそのサポート役という立場でした。葉山の森とのつながりは、後輩たちにも引き継いでいってほしい、という思いがあるので、運営側であっても単なる“ボランティア”という関わり方ではなく、“楽しみ”として参加してほしいと思っていました。当日、後輩たちが企画したヒーローショーは、子どもたちに大人気となって、彼ら自身もすごく楽しんでいたので、僕たちも嬉しかったです。

**DH：主催者も参加者も“楽しむ”ことは、サステナブルな取り組みには欠かせない要素だといえます。最後に、葉山の森が今後どのようにしてほしいとお考えですか？**

**竹内さん：**1年間継続的に参加してきて分かったことは、森づくりを通して、普段関わることの出来ない人たちとのコミュニケーションの場が出来たということです。葉山の森は僕にとっては“社会人と関わる場”という意識が強かったのですが、今後は他大学の学生など、もっと幅広い分野の人と関われる場になるとより面白くなると思います。

**中鉢さん：**今は、整備や観察会といった活動が中心ですが、今後はものづくりや農作物の栽培といった里山文化も学べる機会にするなど、大学では学べない、五感で学ぶ場になったら良いなと思います。



▲1ヶ月前からスタッフとして関わってくれた学生たち。代表で総括をする中鉢さん。

**DH：葉山の森を学生の課外活動のフィールドとして切り開いて下さったお2人。2015年度からは社会人になられますが、葉山の森で体験されたことをぜひ社会の中でも活かしてほしいです。ありがとうございました。**

## 散策路に道標を8本設置。間伐も行いました。

葉山の森が、自然と人が共存する里山として“安心”“安全”な森であるために、2013年度、散策路に8本の道標を設置し、3.79haの人工林の間伐を行いました。



▲2013年度に設置した道標。距離表示がつかました。



▲10本に1本の割合で間伐を行っています。林内が随分明るくなりました！



## 「葉山の森」周辺エリアの魅力⑫～第22回 葉山芸術祭～

プロジェクトの紹介と併せて周辺の名所・見所やプロジェクト関連人物・団体などをご紹介していきたいと思えます。第12回は「第22回 葉山芸術祭 (HAF)」です。



### 第22回 葉山芸術祭 (2014.4.19~5.11)

今年で22回を迎えた葉山芸術祭。主催・共催・協力企画を含め、130超のイベントが実施され、盛況に終わりました。1993年に葉山で始まったこのアートイベント、近年では葉山町を中心に逗子市・横須賀市・鎌倉市に点在して開催されています。

葉山芸術祭は、地元に住む作家や演奏家、企画者が自宅や自宅庭を開放し、オープンハウス形式で参加しているのが特徴。日常生活の1コマの中で、アートにふれあうことができます。

<http://hayama-artfes.net/info/>



◀2014年度葉山芸術祭のポスター。アートユニット「Flip-Flop」の作品。

### ★「森山神社 青空アート市」に潜入★

開催期間の最後の2日間、森山神社で行なわれるハンドクラフト作品の市場。出展者・来場者が最も多い大人気のイベントです。



◀参道や境内にたくさんのテントが並びました。手づくりのアクセサリや衣類、食器、家具、食品を扱う店舗など。出展者とお客さんが混ざり合い、両者が楽しむ光景が見られました。



▲ 流木を加工したグリーンポットやアクセサリースタンドなど



▲ キウイや柿などを合わせたオリジナルのジャム



▲夜になるとプロジェクションマッピングが！ (写真提供：前田拓磨氏)

## お知らせ

【活動予定】7～9月は、森での活動はありません。10月からボランティア整備や自然ふれあい体験会を行う予定です。

【葉山地域のイベント情報】8月16～17日：上山口杉山神社例祭、8月23～24日：木古庭ふるさと祭

※昨年度の様子を「葉山の森だより第10号」に掲載しています。